



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

地震・津波、放射能への 対応について申し入れ

当面する
3つの項目

日本共産党市議団は6月17日、豊田穂市長に地震・津波被害、放射能汚染への対応について申し入れをおこないました。

その内容は、まだ不十分だと考えられる当面の課題として、①住宅修繕への助成は市税滞納など対象条件に制限を設けないこと、②中小業者の災害ゴミの収集・運搬も災害廃棄物処理事業の対象とすること、③放射能汚染から市民・子どもたちの生活と健康を守ること

(学校校庭の表土の除去、土壌測定、農水産物の放射能測定)の3点です。

豊田市長と石田副市長が対応し、市長は「住宅修繕助成に当る適応範囲を当初計画した家屋だけに限定せず、塀など



ポピー園

(関南町関本下地内)

にも広げたい。市税滞納を助成を受ける対象条件から外すことについても検討したい。業者の災害ゴミは指定場所に出してもらえば搬送はするが、それ以外は業者の責任でやってもらいたい。田畑の土壌の放射能測定も検討したい」と回答をしました。



北茨城市女性連盟総会

北茨城市 女性連盟 総会と講演

佐藤佐太郎
を知る

6月23日、北茨城市女性連盟の総会が市民ふれあいセンターで開かれました。

総会につづき、地元史研究家で元教師の沼田章氏が講演をしました。テーマは「佐藤佐太郎―平瀧で育んだ文学者歌人」。戦中から斎藤茂吉に師事し、歌人として大成し、出身の常北中学校校歌をはじめ、学校校歌をたくさんつくった文学者としても紹介されました。

泳げない夏

市教育委員会は、市内小中学校の水泳授業について、本年度はおこなわないことを通知しました。理由は「水泳学習に関する放射線量の安全基準」が文科省から未だ示されていないこと、プール清

災害対策本部から 復興推進本部へ

今回の東日本大震災に係る市災害対策本部は、21日付で廃止となりました。かわって、震災復興推進本部が発足します。支援事業、市民サービスは今までどおりです。

被災者支援で高速道無料化

震災の被災者支援策として、常磐自動車道の水戸インターチェンジ以北などの高速道が無料化されました。被災証明書の提示が必要ですが、本市では、ほとんどの市民が交付の対象となっています。



地域と児童が
一緒になって

広いブルーベリー園

磯原町峰岸地区で、地域の農家と明德小学校の児童たちが一緒に植えたブルーベリーの苗木がすくすくと大きくなっています。

6月23日には雑草取りの共同作業が予定されていましたが、残念ながら雨で中止となりました。早ければ、来年には収穫が見込めると関係者は楽しみにしています。

一步一步けんめいに 被災者支援と災害復旧

6月21日
現在

- 全・半壊戸数 1609
 - り災証明 申請 7035 証明書発送 6464 再調査も受付中
 - 被災証明書発行は、市役所1階ロビー(日曜も可)と3ヶ所の市民サービスセンターで受付。16日からの発行数は1万6878件
 - 損壊家屋(木造)の解体は、市内各地域を13区分し、順次作業。
 - 被災者向け相談総合窓口は市役所2階。これまでに相談数1896人 2690件。6/30閉鎖予定
 - 被災者の国保税、市民税等の減免も受付中
- ※ 市HPで「災害・支援情報」「放射能情報」

国民平和大行進

北海道から東北を縦断し、いよいよ関東・茨城県へ

6月30日 午後5時から平瀧公民館にて、福島県側から茨城県の行進団へと横断幕やパナントが引き継がれます。北茨城市の平和行進は、翌7月1日午前9時から磯原駅西口にて出発集会を開き、駅前通りを歩きます。

みなさん
お誘い
あわせて